

しもながや

横浜市立下永谷小学校

向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷

学校長 関谷 道代

「〇年〇組、いただきます！」

「今日のチリコンカーンおいしすぎて、ほっぺが落ちちゃうよ。」「え～！」「大丈夫。落ちたら校長先生、ほっぺ拾いに行くから。」

昼時になると、給食を取りに来る子どもたちのあいさつの声で給食室がにぎわいます。

給食当番には、大きなおかずや小さなおかず、食器、パンご飯、牛乳など、それぞれ自分の役割があり、一人で運ぶものや二人一組で運ぶものがあります。

食器は重いので二人で力を合わせて運びます。左の子どもがほんの少し背が高いので、一方がまっすぐ手をのばして持つと食器が傾きます。そうならないように、歩きながら、腕の角度を変えて調節しながら歩いている後ろ姿がありました。時々、「このくらいの高さ？」とでも言わんばかりに顔を見合わせています。何とも、あたたかい気持ちになりました。



4月19日(金)は、授業参観・学校説明会・懇談会にたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

本校の学校教育目標は「向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷」です。下永谷小学校は、「人とのかかわり」の中で育つことを大切にしています。向き合うことで、相手や周囲に視点を広げます。相手のためにできることを工夫します。相手のよさを見付けて、認めます。自分と違う考え方を理解しようとしています。

また、各学年の大切にしたい考え方の中に、すべて「人とのかかわり」に関する言葉が入っていました。748名の子どもたちが、子ども同士、様々な形でかかわりながら学び合います。

人は人の中で育ちます。クラスの友達、学年の仲間、ペア学年の関わり、登校班のメンバー。さらには、毎日登下校を見守ってくださる「木の実サポーター」の方々、保護者の方々。多いときは一日に150名近くの子どもの受け入れてくださるキッズのスタッフ。本校の子どもたちが遊ぶ姿をあたたかく見守ってくださる地区センターの方々。月に2回「勉強を楽しむ会」を実施し、ほほえましい様子を伝えてくださる地域ケアプラザの方々。

「多くの大人とかかわり、子どもは地域全体で育てる」の発想で、学校運営協議会もさらなる充実を図ります。地域の教育力や教育資源を最大限生かす取組になるよう、大人同士も向き合う、学び合うことをこれからも大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

食器を運ぶ子どもたちの「相手と高さを合わせよう」と、無意識のうちに行っていた互いを気遣う行動や互いを思いやる気持ちから、どんな育ちが展開されるのか楽しみです。そこから生まれる「向き合って学び合う」心の在りようをこれからも見守ります。5月もどうぞよろしくお願いいたします。

2024 下永谷小グランドデザイン

